

KFAW 国際理解セミナー

「2019 おしゃべり国際交流～理想の未来を創るために語り合おう～」

- ◇ 日時 2019年1月27日(日) 13:00～16:00
- ◇ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階 小セミナールーム
- ◇ プログラム
 - 【第1部】
 - ・北九州市立大学生による発表「SDGsって何？」
 - ・行政官リレートーク「自己紹介／自分の国について」
 - 【第2部】
 - ・ワールドカフェ
 - テーマ「あなたの理想の未来を達成するために何が必要でしょうか。
SDGsの目標と関連させて考えてみましょう」
 - 【第3部】
 - ・書道パフォーマンス／絵馬体験
- ◇ 参加人数：66名
- ◇ パネリスト
 - JICA「行政官のためのジェンダー主流化政策2018(B)」研修員7名
 - Ms.HENG Samphos サンポアさん(カンボジア)
 - Mr.CRUZ ELSEVYF Yanko Vedemil ヤンコさん(ドミニカ共和国)
 - Ms.ATTIA Sherweet Ibraheem Mostafa シェルウィートさん(エジプト)
 - Ms.MOHAMED Nuzha ヌズハさん(モルディブ)
 - Ms.Yin Yin Pyone ジェンさん(ミャンマー)
 - Ms.PANTH Sushila Kumari シュシラさん(ネパール)
 - Ms.AZIZ Salma サルマさん(パキスタン)
 - JICA Philippines Program Officer1名
 - Ms. Tracy Melissa C. Decena トレーシーさん(フィリピン)

【実施内容】

KFAW は、JICA のジェンダー研修で来日中の世界各国の行政官たちをお招きし、それぞれの国でどのように SDGs に取り組んでいるのかについて、自由に語り合うワークショップを開催しました。

第一部では、最近よく耳にする「SDGs（持続可能な開発目標）とは何か」について、北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習生の都甲真以さんに発表していただきました。絶滅危惧種、子供の貧困、児童婚についてのクイズを通して、世界の現状と課題についてわかりやすく説明していただきました。



その後 KFAW から、行政官が JICA で受講している研修のテーマである「ジェンダー主流化とは何か」について、SDGs の目標 5 に絡めて説明しました。

引き続き、行政官のみなさんに、自分たちの国について英語で説明していただきました。

◆ヌズハさん（モルディブ）



モルディブには、きれいな海とサンゴ礁があり、世界中から多くの観光客が訪れます。しかし、国のメイン産業である観光業に従事するのは男性がメインで、女性が観光業で働いているのはわずかです。なぜならば、観光客に人気があるリゾート地は、離れた島にあるため、そのような場所で働くことを両親が良しとしないことが多いからです。



◆ジェンさん（ミャンマー）



ミャンマーには 135 の多様な民族が暮らしていますが、これらは主に 8 つのグループに分けられます。一番多いのはビルマ族で、約 70% を占め、国内に住んでいます。他の民族は、シャン族はシャン州、カイン族はカイン州といったようにそれぞれの州で、独自の文化や伝統を守って暮らしています。



◆ヤンコさん（ドミニカ共和国）



ドミニカ共和国は、とても多様な文化を持っています。最初はスペイン、その後フランス、アフリカと様々な文化の影響を受けてきたからです。また、ドミニカ共和国の人々は、自分たちの国のことを「不思議に満ちた国」と呼んでいます。様々な景観を楽しめるからです。年に1回のカーニバル（独立記念日）は、大人も子供も2か月にわたり、パレードやパーティーを楽しみます。



◆シュシラさん（ネパール）



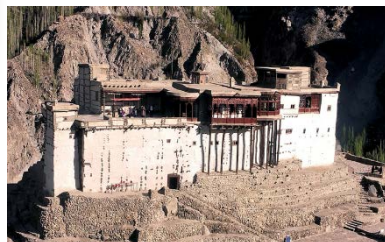
ネパールには、ダシンをはじめとするヒンドゥー教のお祭りがたくさんあります。その中には、女性だけが絶食をして、男性の長寿を願うという祭りもあります。またチャットプッシャという祭りでは、家族の健康を願い、日の出と日の入りにお祈りをします。



◆サルマさん（パキスタン）



パキスタンは8,000メートルを超える高い山々、たくさんの湖、氷河が広がるとも美しいところです。国内には5つの民族が住んでおり、国民のほとんどがイスラム教徒です。今私がかぶっている帽子は、伝統的な女性用の民族衣装の一つで、手作りの刺繍が施されています。結婚式では、新婦さんは、この帽子にたくさんの宝石をつけたものをかぶります。



◆サンポアさん (カンボジア)



カンボジアでは、手を合わせて挨拶をしますが、そこには色々なスタイルがあります。王様やお坊さんにあいさつをするときは額に手をあてます。両親や祖父母に鼻の位置に、上司や目上の人には口の位置に、同僚や友達へは胸の位置で合わせます。



◆トレーシーさん (フィリピン)



フィリピンでは、男女の平等は大変進んでおり、男性も女性も同じ機会を享受することができます。女性のエンパワーメントもとても進んでいます。教育や職業、賃金に関しても男女間の差別はありません。また、フィリピンの家族の絆はとても深く、いつでも家族で集まり、みんなでご飯を食べて楽しめます。



◆シェルウィートさん (エジプト)



エジプト人は自分たちのアイデンティティをととても大切にしています。自分たちをアラブ・中東の国の一つであると考えていると同時に、地中海そしてアフリカ大陸の一つであると考えています。また、エジプトは古代から、家族そして友達の絆をととても大事にしてきました。そのため、エジプト人は職場でもプライベートでも、年齢にかかわらず、友人としてお互いを尊敬しあっています。



※シェルウィートさんは、モロヘイヤスープとアエーシ（エジプトのパン）をふるまってくださいました。ありがとうございました。

第2部は、それぞれの国で、どのようにSDGsに取り組んでいるのかについて、行政官と参加者が自由に語り合うワークショップを開催しました。



ワークショップでの意見の一部を紹介します

「今ある身の回りの課題、社会の課題は何ですか？」

- モルディブは島国のため、都市に人が流出してしまう。
薬物乱用、家庭内暴力
- 地球温暖化、海面が上昇、気候の変動
- 世界の貧困、特に子供の貧困が深刻
- 世界的なエネルギー問題、原子力発電
- ネパールでは児童結婚、男女の学歴の差、それに伴う経済格差
- ミャンマーでは、子供に対するレイプ、特に身内に加害者が多い
- 日本では未婚率・離婚率の高さ
- 日本の学生にとってバイトと学業の両立が大変・・・



第3部は日本の伝統文化である書道パフォーマンスを行いました。パフォーマーは、北九州市立大学ESDプロモート実習2年の黒井奈緒さんです。国際高校生選抜書展で約1,000校の中でみごと団体優勝を果たした実力の持ち主です。今回は力強い“夢”という文字を書きいただきました。

その後、「理想の未来に向けて、自分自身どんな一歩を踏み出せるか」について、参加者が思いを込めた絵馬を書道用紙に貼っていきました。最後に、書道パフォーマンス&絵馬をバックにみんなで記念撮影をして締めくくりました。

今回のワークショップを通じて、世界の現状と課題、そしてSDGsについて理解を深めていただけたのであれば幸いです。ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。

今後もKFAWはSDGsゴール5の達成に向けて、様々な取り組みを進めていきたいと思っております。

